

三菱マテリアル株式会社が発行する 「トランジション・リンク・ボンド」への投資について

大東京信用組合（理事長 内田通郎、以下「当組合」）は、三菱マテリアル株式会社（以下「本法人」）が発行する第 39 回トランジション・リンク・ボンド・無担保社債（以下、「本債券」）への投資を決定いたしましたので、お知らせいたします（本債券発行日 2024 年 4 月 24 日）。

「トランジション・リンク・ボンド」とは、脱炭素社会の実現に向けて長期的な戦略を策定した企業が、その戦略に沿った目標設定（SPTs）を行い、達成状況に応じて条件が変動する社債です。

本法人は、SPTs を SPT-1（2030 年度までに GHG 排出量を 45%削減）、SPT-2（再生可能エネルギー電力の利用率について、2025 年度までに 30%、2030 年度までに 80%、2035 年度までに 100%のいずれか）とし、未達の場合、利率のステップ・アップ、寄付、または排出権・証書を購入することとしています。

本法人は、「サステナビリティ・リンク・ボンド原則 2023（ICMA）」、「クライメート・トランジション・ファイナンス・ハンドブック 2023（ICMA）」、「サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン 2022 年版（環境省）」、「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン 2022 年版（環境省）」、「クライメート・トランジション・ファイナンスに関する基本指針（2021 年 5 月）（金融庁・経済産業省・環境省）」、「サステナビリティ・リンク・ローン原則 2023（LMA・APLMA・LSTA）」に則った「トランジション・リンク・ファイナンス・フレームワーク」を策定しており、その適合性について、株式会社日本格付研究所（JCR）より、セカンド・パーティ・オピニオンを取得しております。

当組合は、今後も ESG 投資を通じて、SDGs の達成に貢献する事業を資金面からサポートし、持続可能な社会の形成に寄与すべく社会的使命・役割を果たしてまいります。

以 上